

2010.10-2011.9

事業を通じ、

持続可能な循環型社会構築に寄与し、

従業員と家族の幸福を追求する。



ドンカムくん



Don't Dump It!!  
Recycle It!!

KODZUKA GROUP

# environmental practices report



こづか株式会社

発行日 平成23年12月12日

環境管理責任者 芝田 裕久

## 目 次

1.取組み対象活動	-----	1
2.事業概要	-----	2
3.環境理念・環境方針	-----	3
4.環境組織図	-----	4
5.環境への負荷の把握	.....	5
6.グループ環境目標	-----	6
7.部門別環境目標	-----	7
8.活動計画を実施するために必要な取り組み	-----	8
9-1.環境目標に対する取組の評価	-----	9
9-2.目標に対しての数値の確認及び評価	-----	10
10.教育の計画・訓練の実施	-----	11
11.緊急事態対応規定の整備	-----	12
12.環境コミュニケーション	-----	13
13.CSR	-----	14
14.環境関連法規のとりまとめと遵守評価	-----	15
15.代表者による全体の評価と見直し	-----	16

資料 環境への負荷とりまとめ表



## 事業概要

会社名	こづか 株式会社	法人設立	平成4年4月
代表者名	代表取締役 小塚 敏文	資本金	1,000万円
事業内容	古紙・パルプ・古布及び紙製品の売買 計量証明事業 古紙の買取料金については電話又はメールでお問合わせください		
売上高	137 千万円	2010年度	
従業員数	29 人		
会社所在地	本社	横浜市都筑区川和町247番地 TEL 045-929-1931	2725m <sup>2</sup>
	横浜北事業所	横浜市都筑区東方町895番地	1399m <sup>2</sup>
	横浜南事業所	横浜市磯子区新磯子町10番地1 TEL 045-750-5191	1974m <sup>2</sup>
	富士営業所	静岡県富士市富士岡483-5 TEL 0545-34-0440	1164m <sup>2</sup>
	清水事業所	静岡県清水区谷津町1丁目333-1 TEL 0543-69-5988	1000m <sup>2</sup>
保有車両	トラック 大型	1 台	合計 29 台
	フォークリフト	17 台	
	計量機 台貫	5 台	
	ベラー	6 台	

## 設備の処理能力

機械 名称	設置場所	能力	備考
東京自動機械 ベーラー1号機	横浜北	120t / 8h	
東京自動機械 ベーラー2号機	横浜北	96t / 8h	
渡辺鉄工 ベーラー1号機	本社	120t / 8h	
渡辺鉄工 ベーラー1号機	横浜南	160t / 8h	
渡辺鉄工 ベーラー1号機	清水	120t / 8h	
ホーライ 改 ベーラー1号機	富士	32t / 8h	

### 参考: 事業規模の推移

活動規模	単位	2008	2009	2010
収集運搬処理量	t	0	0	0
中間処分処理量	t	48091	47028	49952
売上高	百万円	937	876	1366
従業員	人	32	30	34
床面積	m <sup>2</sup>	5297	8022	8022

制定日 2006年12月1日

改定日 2011年6月1日

こづか株式会社  
代表取締役 小塚 敏文  
有限会社大興資源  
代表取締役 猪又富美男

# 環境理念



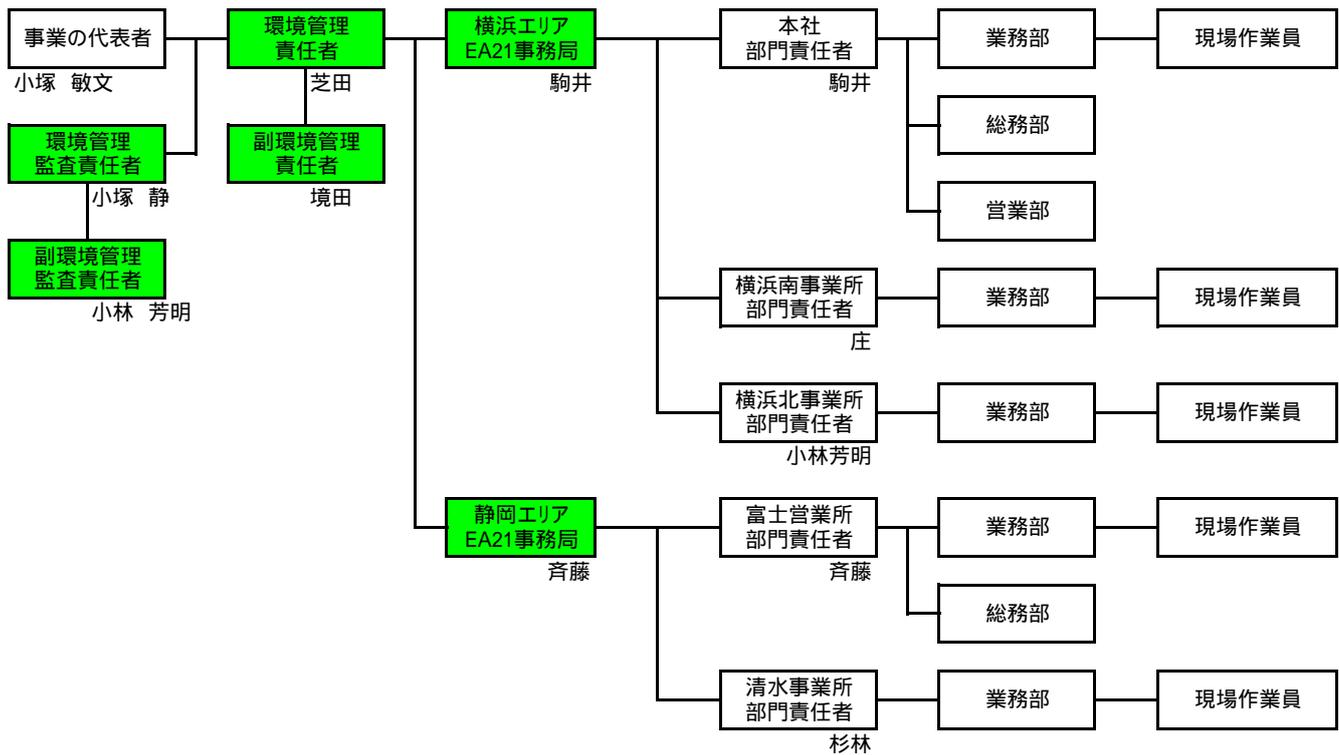
持続可能な循環型社会構築のため、リサイクルを推進する。  
市民や企業のエネルギー節約に協力し、率先して省エネ行動をする。  
全ての従業員が幸福な未来を実現するため、エコライフを実践する。

## 【こづかグループ 環境方針】

環境事業に専念し、地球環境を守ることを最重要利益と認識し行動する。

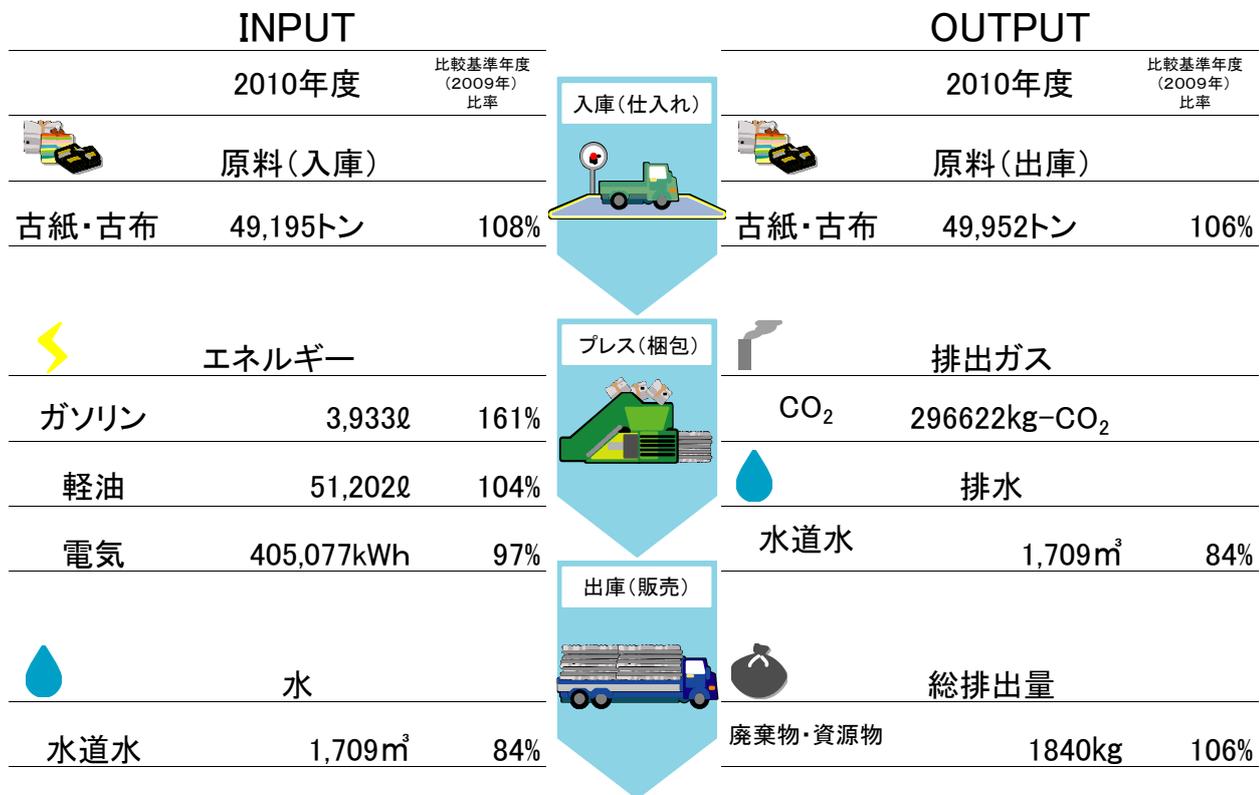
1. 収集した廃棄物の再生利用に向けられる可能性を検討し、社内外問わず、その廃棄物に関わるすべての人間の知識を共有するよう努めます。
2. すべての営業所・事業所において、CO<sub>2</sub>削減、節水、省資源に努めます。
3. 事業に関連する法的要求事項を全て把握し遵守します。
4. 継続可能な循環型社会を構築するための教育活動を行い、当事業に相応しい人材を育成します。
5. 本方針を公開し、朝礼、会議、社内ホームページを活用し、全従業員に周知させ、環境に配慮した行動が出来るように努めます。
6. 雨水の再利用、新エネルギーの導入を積極的に検討します。
7. グリーン購入、環境物品等の調達を推進に努めます。

# こづか(株) 環境組織図



各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関わる主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	環境方針を承認する 環境管理責任者の任命 全体の取り組み状況の評価と見直し 資源の用意
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任に関わらず持つ。 システム実績を事業の代表者に報告	システム運用の維持管理 マネジメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集 是正処置・予防処置の推進維持
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーション窓口	教育・訓練計画の立案 実施 環境活動計画通りの運用の実施と確認 取り扱い数量の把握と半期ごとの集計 (出庫数量、代納含まず) 環境への取組みの自己チェック 環境への負荷の自己チェック システム実績を環境管理責任者へ報告 事業の代表者へ
部門責任者	部門システム運用責任者	環境方針、環境目標、部門目標の周知(掲示)

## 5.環境への負荷の把握



### 評価基準について

こづか株式会社では出庫の取り扱う原料が増えることで、環境負荷が増となる評価の基準は、取扱量1トンあたりとする。

### 参考:事業規模の推移

活動規模	単位	2008	2009	2010
収集運搬処理量	t	0	0	0
中間処分処理量	t	48091	47028	49952
売上高	百万円	937	876	1366
従業員	人	32	30	34
床面積	m <sup>2</sup>	5297	8022	8022

## 6.こづかグループ全体 中長期環境目標

2015年までに達成させる

取扱量 増トン +3600トン

CO<sub>2</sub> 水、電力 1トンあたり-5%

ゼロエミッションへの挑戦

グリーン購入

こづかグループ全体 単年度 環境目標および活動計画

実施予定期間

### 取扱量 増トン +100トン/月間

活動計画	責任者	実施者	2010			2011											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
定例 営業会議の実施	営業本部長	営業社員															
営業ツールを充実させるための検討	総務部	営業社員															
セミナーへの参加	総務部	営業社員															
SEO対策	総務部	総務部															
ブランド力強化(まつり、イベントへの参加)	総務部	総務部															

### CO<sub>2</sub> 水、電力 1トンあたり -3%

活動計画	責任者	実施者	2010			2011											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
CO <sub>2</sub> 、電気使用量 削減																	
エコドライブの実践	業務部	ドライバー															
エアコン温度設定	部門責任者	全従業者															
作業効率化	業務部	全従業者															
LED電球導入の検討	総務部	全従業者															
水使用量の削減																	
「節水のお願い」の掲示	EA21事務局	全従業者															
余分な開放がないかのチェック	EA21事務局	全従業者															
雨水の有効利用の検討	EA21事務局	全従業者															

### 自社廃棄物 -3%

活動計画	責任者	実施者	2010			2011											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
裏紙のメモ使用	部門責任者	全従業者															
スキャナー・両面印刷の励行	部門責任者	全従業者															
分別ボックスの設置	部門責任者	全従業者															
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減	部門責任者	全従業者															
軍手の再利用	業務部	業務部															

### グリーン購入について

コピー用紙、トイレトペーパー、ティッシュは必ず再生品を利用する

活動計画	責任者	実施者	2010			2011											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
CNG天然ガス車への変更の検討	役員	役員															
印刷に出すチラシは再生紙を指定する	総務部	総務部															
環境に配慮した製品を優先して使用する	総務部	全従業者															

## 7.部門別環境目標

- 本社
- 横浜南事業所
- 横浜北事業所
- 富士営業所
- 清水事業所

部門は左記のとおりとし、  
月次内部監査 ALL「A」を目指す

監査項目は全部で14項目

(生物多様性の観点により、本社では隣接する河川の清掃も監査項目に入れる)

	内部監査	部門名	内容	指示	監査人		点数	是正処置
					前回評価 A/B/C/D	今回評価 A/B/C/D		
1	あいさつ		お客様、地域の方、社内間でのあいさつ	常時				
2	ビット清掃		地下ビット内	毎朝10分				
3	台貫清掃		台貫の内部	1週間に一度				
4	機械清掃		シリンダー部分 周り	毎日				
5	場内清掃		置き場	常時				
6	場外清掃		道路・土手面	常時清掃				
7	重機清掃		エンジン部分 フィルター	毎日清掃				
8	消火器の点検		配置場所 消費期限	訓練実施時 (半年に一度)				
9	アイドリング ストップの徹底		こまめな エンジンの停止 ペーラーの停止	常時				
10	事故・物損		ぶつけた場所 鉄ノカゴなど	常時				
11	在庫報告の徹底		バラの分も 本数に換算して報告	毎日				
12	在庫の仕方		積み方、奥から高く、 くずれないように 積んでいるか	毎日				
13	エアコンの 設定温度		設定温度は適切か (冬20℃・夏27℃)	毎日				
14	環境方針(目標)は 把握してるか		最新版を掲示	常時				

## 8.活動計画を実施するために必要な取組み

### 資源物、廃棄物 取扱量 増トン +100トン/月

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取組み
定例 営業会議の実施	営業本部長	営業社員	営業会議などには必ず役員が参加する
営業ツールを充実させるための検討	総務部	営業社員	営業企画会議の実施
セミナーへの参加	総務部	営業社員	情報の収集、担当者が参加
SEO対策	総務部	総務部	ホームページ管理会社との定期打ち合わせ
ブランド力強化(まつり、イベントへの参加)	総務部	総務部	地域のイベントに参加(磯子まつり・都筑区民まつり)

### CO<sub>2</sub>、水、電力 1トンあたり -3%

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取組み
CO <sub>2</sub> 、電気使用量 削減			
エコドライブの実践	業務部	ドライバー	ドライバーマニュアル、考課表による技能評価
エアコン温度設定	部門責任者	全従業員	社内掲示、温度設定は冷房時28、暖房時20 に設定
作業効率化	業務部	全従業員	業務会議による配車見直し
LED電球導入の検討	総務部	総務部	
水使用量の削減			
「節水のお願い」の掲示	EA21事務局	全従業員	社内掲示
余分な開放がないかのチェック	EA21事務局	全従業員	環境への負荷の自己チェック毎月実施
雨水の有効利用	EA21事務局	全従業員	トイレ洗浄水の雨水利用、洗車・清掃への利用の検討

### 自社廃棄物 3%削減

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取組み
裏紙のメモ使用	部門責任者	全従業員	
スキャナー・両面印刷の励行	部門責任者	全従業員	スキャナー・プリンタの機能を有効利用
分別ボックスの設置	部門責任者	全従業員	品目を細かく分類した分別ボックスの設置
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減	部門責任者	全従業員	
軍手の再利用	業務部	業務部	洗濯・再利用

### グリーン購入などについて

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取組み
CNG天然ガス車への変更	役員	役員	
印刷に出すチラシは再生紙を指定する	総務部	全従業員	購買稟議システムの運用
環境に配慮した製品を優先して使用する	総務部	全従業員	購買稟議システムの運用

### 自社で販売する製品について

他社では産廃となってしまう、特殊紙を取り扱う製紙メーカーと取引をし、取扱品は可能な限りリサイクルする。

## 9-1. 環境目標に対する取組の評価

### 1. 資源物、廃棄物、取扱量 増トン 100トン/月 前半期実施期間 後半期実施期間

活動内容	実施確認者	2010			2011									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
定例 営業会議の実施	総務部													
営業ツールを充実させるための検討	総務部													
セミナーへの参加	総務部													
SEO対策	総務部	×	×	×										
ブランド力強化 まつり、イベントへの参加	総務部													

### 2.CO<sub>2</sub>、水、電気 1トンあたり 3%削減

活動内容	実施確認者	2010			2011									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
エコドライブの実践	業務部													
エアコン温度設定	部門責任者													
作業効率化	部門責任者													
LED電球導入の検討	EA事務局													
「節水のお願い」を掲示	EA事務局													
余分な開放がないかのチェック	EA事務局													
雨水の有効利用	EA事務局													

### 3. 自社廃棄物 3%削減

活動内容	実施確認者	2010			2011									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
裏紙メモ使用	部門責任者													
スキャナー、両面印刷の励行	部門責任者													
分別ボックスの設置	部門責任者													
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減	EA事務局													
軍手の再利用	業務部													

### 4. グリーン購入について

活動内容	実施確認者	2010			2011									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
CNG天然ガス車への変更の検討	役員													
印刷に出すチラシは再生紙を指定する														
コピー用紙、トイレトペーパー、ティッシュは必ず再生品を利用する。	総務部													

#### 2010年度前半期評価

本社移転があり、大きく環境が変わった。エネルギー量の増加は必然と思われるが、それらをカバーできるよう取扱量を増やさなくてはならない。

全体の評価として、以前からの取組については問題ないが、新たに始めた内容についての意識が低く、周知徹底が必要。

今後は意識向上を計っていきたい。

雨水の有効活用は実現出来ていない、企画もない状態なので会議で議題にする必要がある。

今回から新たにスキャナー、両面印刷を励行してまだ浸透していないが、徐々に変わってきている。

環境目標の変更は必要ないが活動内容について今回、できなかった部分は後半期では実施できるようにする。

#### 2010年度後半期評価

半期で評価した事で後半はほぼ実施が確認された。

会議の議題で雨水の有効活用についてコンプレッサー8機のうち1機のジェット噴射を雨水使用にする案等が検討されたが未だ実施段階ではない。

実現に向けて検討していく必要がある。

トイレの蛇口と洗浄には雨水を利用している。

後半期の会議で、今までは燃やすごみとなっていた濡れた古布をリサイクルする案が上げられ、増トン目標の結果につなげていきたい。

来期では本社移転に伴い比較基準年度を2007年ではなく2009年度とする。

環境目標そのものの変更は必要ないが活動内容を工夫する。

## 9-2. 目標に対しての数値の確認及び評価



### 取扱量(1ヶ月平均)

品名	2010年度	比較基準年度 (2009年度)	目標値	達成率	評価
古紙・古布	4,163トン	3,919トン	4,019トン	103.5%	◎

### 下記項目の評価基準について

こづか株式会社では出庫の取り扱う原料が増えることで、環境負荷が増となる。  
評価の基準は、取扱量1トンあたりとする。



### 排出ガス

項目	2010年度	比較基準年度 (2009年度)	目標値	削減率	評価
CO <sub>2</sub>	5.938kg-CO <sub>2</sub>	6.217kg-CO <sub>2</sub>	6.030kg-CO <sub>2</sub>	96%	◎



### 電気

項目	2010年度	比較基準年度 (2009年度)	目標値	削減率	評価
電気	8.109kWh	8.873kWh	8.607kWh	91.3%	◎



### 水

項目	2010年度	比較基準年度 (2009年度)	目標値	削減率	評価
水	0.034m <sup>3</sup>	0.043m <sup>3</sup>	0.042m <sup>3</sup>	79.1%	◎



### 総排出量

項目	2010年度	比較基準年度 (2009年度)	目標値	削減率	評価
廃棄物	0.0368kg	0.0367kg	0.0356kg	100.3%	△

## 10.教育の計画・訓練の実施

各部門では毎朝の朝礼を実施、K.Y.T(危険予知トレーニング)を実施。

フォークオペレーターはフォーク作業10カ条を読み上げる。

機械、重機の無駄なアイドリング運転の確認なども含め、エコアクション21の活動内容を確認する。

また、毎年3月・9月には部門別に消防訓練を実施し、実際の火災を想定し、緊急事態対応規定の実用性を確認する。

毎月の定例会議では、環境管理責任者より、エコアクション21の活動内容について、環境目標の確認、必要な活動計画などを教育している。監査報告書を回覧している。

記録は現場作業員議事録

### 教育・訓練計画

内容	対象	2010			2011									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
環境に関する教育	横浜エリア 現場作業員													
環境に関する教育	横浜エリア・ 静岡エリア													
緊急事態への 対応訓練	横浜エリア・ 静岡エリア													

訓練についてはP12 “緊急事態対応規定の整備” 参照

## 11.緊急事態対応規定の整備

[¥¥192.168.0.3¥20社内マニュアル集¥01 マネジメント¥01 規程 マニュアル¥GR 緊急事態対応規程 20101001.doc](#)

緊急事態対応規定を整備。

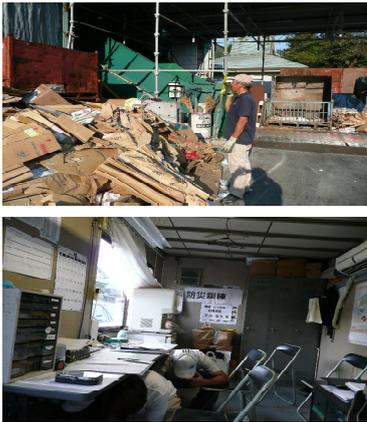
本社サーバーにアップロードしどの営業所からでもアクセスが可能にする。

緊急事態対応規定の内容

- 火災を含む天災について
- 交通事故について
- 個人情報漏洩事故について
- 緊急事態時の連絡網

### 防災訓練レポート

今回は3月11日の東日本大震災をふまえ地震の設定で実施。

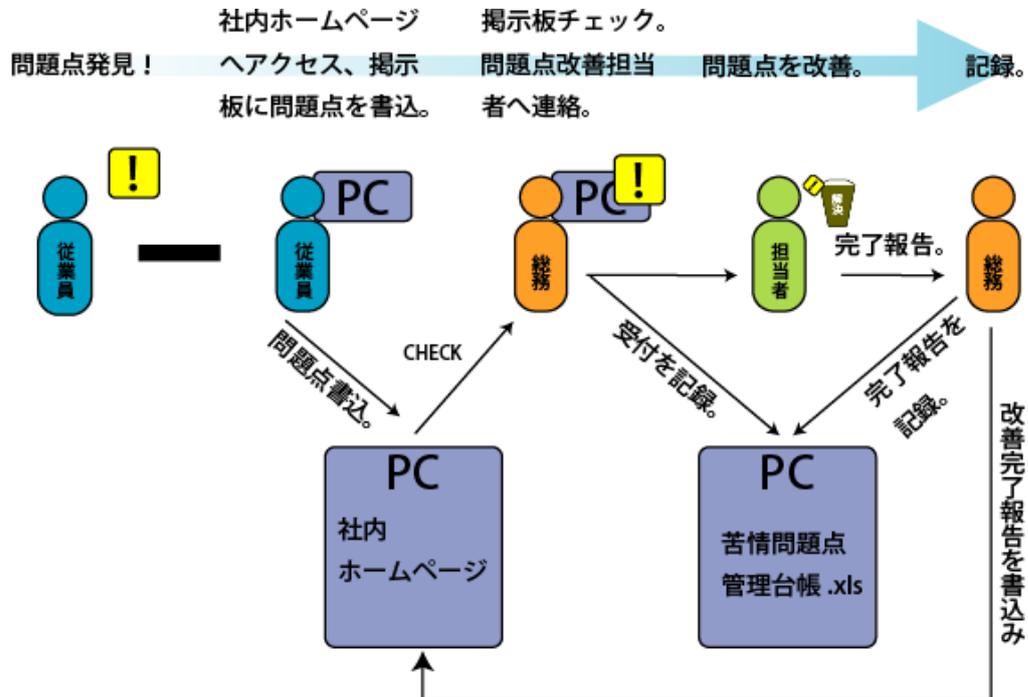
防災訓練レポート		23.9.29 エコ21 士
1. 日時	平成23年9月28日(水曜日) 16:30~16:45	
2. 場所	清水区谷津町1丁目328-4 (有)大興資源 静岡営業所 構内・ドライバー室	
3. 指導者	芝田(事務局)	
4. 参加者	こづか・大興資源の職員 6名	
写真		
-メモ-	訓練内容 緊急事態対応規定に基づき防災(地震)時における対応として避難の実習をしました。また検証の結果避難方法は、問題ありませんでした。	

## 12.環境コミュニケーション

### 1.内部コミュニケーションの手段

- ① 社内ホームページの開設・活用
- ② 朝礼の実施
- ③ 環境活動レポートの公表(各自治体、取引先への提出)

#### 社内ホームページ活用イメージ



### 2.外部コミュニケーションの手段

- ① ホームページの開設・活用→環境方針、活動レポートの公開・苦情受付窓口  
<http://www.taiko-shigen.co.jp/>  
 ホームページ上から、環境に関する苦情、問い合わせを受ける。
- ② 各種イベントの参加  
 毎年9月→磯子まつり  
 毎年11月→都筑区民まつり

磯子まつり



都筑区民まつり



- ③ 環境活動レポートの作成、配布(各行政機関、取引先など)

## 世界の平和、豊かな地球

### 次世代へ残すために・・・

毎年、横浜市都筑区民まつり、磯子区民まつりでは大興資源で紙すき体験ブースを出展しています。毎回400人を超える子供たちが紙すき体験をしています。

長蛇の列で順番待ちをする子供たち。

「おばあちゃんへの年賀状にするんだ。」と丁寧に紙をすきます。

このやさしい子供たちが将来、環境への関心になるきっかけになればと願いを込めて、



牛乳パックからハガキを作る!!

## 14.環境関連法規のとりまとめと遵守評価

法規等の名称	規制概要	規制詳細	規制の適用	遵守評価					
				2009年3月	2009年9月	2010年3月	2010年9月	2011年3月	2011年9月
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理	排出事業者責任 契約書の締結 マニフェストの発行 施設の管理	廃棄物排出時 業務受注時 廃棄物排出時 中間処分場運営						
家電リサイクル法	特定家庭用機器の リサイクル		業務受注時 廃棄時						
消防法	指定可燃物の保管	消防設備の設置状況	商品の保管時						
許可取得の各行政条例	各焼却施設への搬入 廃棄物の引き取り	不適合物の搬入 不適合物の収集	焼却施設搬入時 廃棄物の収集時						
自動車NOX・PM法	ディーゼル自動車への規制	都市部への乗り入れ	車両購入時 車検時						
浄化槽法	清掃・保守点検 水質検査 定期検査	定期検査	富士営業所 WC 清水営業所 WC						
グリーン購入法	再生品使用の促進		備品・消耗品購入 時						
神奈川県生活環境の 保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減		事業全般						
横浜市生活環境の 保全等に関する条例	横浜市生活環境の 保全等に関する条例		事業全般						

起こりえる違反事項	訴訟・違反の有無					
	2009年3月	2009年9月	2010年3月	2010年9月	2011年3月	2011年9月
環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反の有無	無	無	無	無	無	無
関係機関からの指摘	無	無	無	無	無	無
訴訟の有無	無	無	無	無	無	無

## 15.代表者による全体の評価と見直し

見直し実施日	2011年9月30日		
収集した資料	2010年度環境活動レポート		
評価内容	<p>エコアクション21が有効に機能しているか</p> <p>環境への取組みは適切に実施しているか</p> <p>全従業員へ適切な教育がされているか</p>		
総評	<p>取扱量・トンあたりの排出量ともに目標を達成できた。</p> <p>節電や省資源についての意識は社員に浸透してきたと思われる。環境方針については社内掲示を増やしさらに意識の向上をはかる。</p> <p>自社廃棄物量については目標は達成できていないが、今後も分別・リサイクルを徹底していく。</p>		
変更の必要性の判断	環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	不必要
	環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	不必要
	その他計画	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	不必要
環境管理責任者への指示事項			
<p>部門別目標の「ALL A」を達成させること</p> <p>生産性を重視し、効率の良い作業体制を確立させること</p> <p>新入社員に対して迅速な環境教育を行うこと、また定期的に環境意識を高める環境教育を全社員に行うこと</p> <p>積極的な省エネ情報の収集と提案をすること</p> <p>環境目標は、単年度目標の3%削減を達成できたので、目標の見直しが必要。</p>			